



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ推進ニュース

—介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう!—

「介護の日」全国一斉行動で、日本全国に「介護ウェーブ」の津波!

“あったかトナ介護くん”登場（北海道）

道内各地で「介護の日一斉行動」が取り組まれる



オホーツク イトーヨーカドーを舞台に、2つの玄関前では署名隊が待ちかまえ、店内では「健康チェック」と“あったかトナ介護くん”がお出迎え、という万全の体制で、オホーツク「介護の日」行動が、3時間(!)にわたってとりくまれました。

“あったかトナ介護くん”は、デイサービス職員がクリスマス用に作った手作りで、子どもたちに大人気（でも、「知り合いに笑われた」「お母さんに見られた」とか、いろいろあったそう）。健康相談コーナーには、中井総院長はじめ医師3人が順番に座り、のべ32人が行動に参加して、310筆の署名に結実しました。

道東 看護・介護改善合同宣伝としてJR釧路駅前で行い、13人の参加で署名54筆（看護25+介護29）を集めました。看護師、ケアワーカーが交互にマイクを持ち、それぞれ準備してきた原稿で訴えました。風が冷たく、通行人もまばらでしたが、タクシープールの運転手さんたちに懸命に訴えました。



道南 昼休みに稟北クリニック前で「介護の日」統一行動を行いました。行動には病棟、通所リハ、らいふ赤川の介護現場で働くケアワーカー、介護事業部のヘルパー、ケアマネジャーなどを中心に他職種含め45名の職員が参加して行われました。現場で働くケアワーカーが次々とマイクを持ち、介護現場の厳しい状況を市民に訴えました。

道北 労働組合と共同で、買物公園での宣伝行動にとりくみ、16人が参加しました。

札幌では「介護110番」を実施 切実な相談が29件

「残業代が支払われない」「31歳の男性ヘルパー：将来が不安」

「家族同居を理由に、サービス切られた」「虐待が心配」「施設に入れたいが空きがない」

「職員が忙しそうなので、用事をお願いできない。政府はこの人たちの給料こそ上げるべき」

「介護職員を増やして！」道連絡会がとりくんだ「介護110番」には、利用者・家族、労働者、事業者から切実な相談が29件寄せられました。

特に、NHKや民放4局が夕方のニュースで取り上げたとたんに、いっせいに3本の回線が埋まりっぱなしになりました。

「ともかくこの思いを誰かに聞いてもらいたくて」「お話しできて心がスッキリしました」という電話も多く、日頃介護にあたっている人たちの「心の重たさ」をあらためて実感した「110番」でもありました。（北海道民医連ニュース 2008.11.12 より）

盛岡市中心部で署名宣伝行動 地元紙2社も写真入りで報道（岩手）

署名協力者から「麻生さんをここに呼んで抗議をしたい気持ちだ」



11月11日「の介護の日」、岩手民医連の介護事業所の職員をはじめ11名が参加し、盛岡市中心部で署名宣伝行動を行い、約1時間で130筆を集約しました。

署名をした人から「話を聞いて介護労働者の大変さがわかった」「麻生さんをここに呼んで抗議をしたい気持ちだ」「12月の介護のつどいの内容を詳しく知りたい」「ぜひ、私にも署名を書かせてほしい」の反応があり、参加した職員は「もっと多くの人に介護の実態を伝えたい」「若い人も署名に協力してくれうれしかった」との感想を寄せています。地元紙2社も写真入りで報道しました。

（2008.11.12 岩手民医連 吉田事務局長より）



お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp